

シンポジウム・研究会 (2020 年 1 月 15 日以降に開催したもの)

研究会

「東京の京友禅」

開催日：2020 年 1 月 25 日

場 所：法政大学市ヶ谷キャンパス

「テクノロジーとアート」プロジェクトの研究会。京友禅が大正・昭和初期の産業革命の影響下でどのようなファッションを作り上げていったかをテーマとした。



シンポジウム

「気候変動と雨水利用～雨水の基準と制度を考える日独シンポジウム」

開催日：2020 年 2 月 19 日

場 所：法政大学市ヶ谷キャンパス スカイホール

法政大学市ヶ谷キャンパス・スカイホールにて開催。118 名が参加。

研究会

「考古民族国際研究センター「Edo Castle Mission」との研究会」

開催日：2020 年 2 月 26 日

場 所：法政大学市ヶ谷キャンパス

イタリア・ナポリを拠点に活動する考古民族国際研究センターの研究プロジェクトの一つで、江戸城とその周辺の都市空間の復元を行う研究プロジェクト「Edo Castle Mission」のメンバーが来日。法政大学市ヶ谷キャンパスにて研究交流会議を開催。

シンポジウム

「年度末シンポジウム」

開催日：2020 年 2 月 29 日

場 所：法政大学市ヶ谷キャンパス

法政大学市ヶ谷キャンパスにて EToS 研究員による 2019 年度の活動報告と今後の活動方針についてのディスカッションを開催。

研究交流会議

「佐原アカデミアとの研究交流会議」

開催日：2020 年 3 月 1 日

場 所：千葉県香取市佐原地区

NPO 法人佐原アカデミアの招きにより千葉県香取市佐原地区を訪問し、町並みの見学と今後の研究協力についてのディスカッションを開催した。



報告書・書籍等 (2020 年 1 月以降に開催したもの)

書籍

EToS 叢書 2 「風土 (Fudo) から江戸東京へ」

発行：法政大学出版局

編著：江戸東京研究センター、監修：安孫子信

発行年月：2020 年 3 月

2018 年 7 月に開催された国際シンポジウムの内容を書籍化したもの。

【出版社 Web サイトより】哲学者和辻哲郎が構想し、地理学者オギュスタン・ベルクが発展させた〈風土学〉の方法論に基づき、世界の研究者たちが江戸＝東京を論じた国際シンポジウムの記録。哲学、建築学、都市論、文学、美学と多岐にわたる議論が交わされるなかで、和辻が述べた「日本の珍しさ」がよりポジティブに、発展的なかたちで立ち現れる。法政大学江戸東京研究センターが贈る、都市東京を深く知るための EToS 叢書、第 2 巻刊行！



## 書籍

### 「江戸とアバター 私たちの内なるダイバーシティ」

発行：朝日新聞出版

共著：池上英子，田中優子

発行年月：2020年3月

2018年12月に法政大学にて開催された朝日新聞社主催「朝日教育会議：江戸から未来へ アバターfor ダイバーシティ」の内容をもとに、江戸東京研究センター研究員の田中優子総長、米国ニュースクール大学院社会学部教授の池上英子氏が書き下ろした書籍。

【出版社 Web サイトより】武士も町人も一緒になって趣味で集まり遊んでいた江戸文化。それはダイバーシティ（多様性）そのもので、一人が何役も「アバター」として演じる落語にその姿を垣間見る。今アメリカで議論されている「パブリック圏」をひいて、日本人が本来持つしなやかな生き方をさぐる。



## 報告書

### 「テクノロジーと東京」

発行：江戸東京研究センター，監修：山本真鳥

発行年月：2020年3月

2019年3月に開催されたワークショップ「テクノロジーと東京」の内容をまとめた報告書。



## 報告書

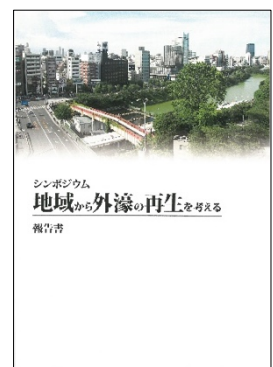
### シンポジウム「地域から外濠の再生を考える」報告書

編集：外濠再生懇談会

発行：江戸東京研究センター，エコ地域デザイン研究センター，  
東京理科大学外濠及び神楽坂地域調査研究推進室

発行年月：2020年3月

2019年3月に開催されたシンポジウム「地域から外濠の再生を考える」の内容をまとめた報告書。



## 映像

### 多摩川源流物語

「水都－基層構造」プロジェクトチームのひとつである「府中玉川研究プロジェクト」が、活動記録映像「玉川源流物語」を制作し Youtube にて公開した。

<https://www.youtube.com/watch?v=sgRz1-T3o5Y>

発表年月：2020年3月



## 講義・教育プログラム

### ・デザイン工学部講義「風土と建築」（秋学期 14 回）

東京をテーマに、重要と思うまちや建築、地域、空間を選び出し、その独自性を読み解いてマップ化した「東京マップ」を作成した。学生が作成した「東京マップ」は江戸東京研究センターWeb サイトにて公開した。

### ・デザイン工学部講義「フィールドワーク」（春学期 14 回）

地図や様々な史料を使いながら東京の歴史的なまちの分析、あるいは住宅などの建物の実測調査と作図を行った。

### ・デザイン工学部講義「都市史」（春学期後半 14 回）

東京のまちを対象に街区、敷地、建築レベルで、江戸から明治、現代に沿ってその空間の変化を各時代の地図から考察した。

### ・履修証明プログラム「江戸東京を学ぶ」

法政大学が開設する社会人向けの履修証明プログラムのひとつとして以下の授業にて 1 年間にわたって社会人受講生を受け入れた。

- 【建築・地理コース】人文地理学セミナーA(春学期 14 回)、人文地理学セミナーB(秋学期 14 回)、  
風土と建築(秋学期 14 回)、フィールドワーク(春学期 14 回)、都市史(春学期後半 14 回)
- 【文芸・文化コース】江戸の文芸と文化Ⅰ(春学期全 14 回)、江戸の文芸と文化(秋学期 14 回)、  
伝統文化と民衆世界Ⅱ(秋学期 14 回)

## 広報活動

### ・広報誌 HOSEI 掲載（2018 年 6 月号）

主に法政大学保護者を対象に発行されている広報誌の巻頭特集に研究活動の紹介記事を掲載。

### ・受験生用大学案内の特集ページに掲載

受験生向けの広報として入学センターが作成する「2020 年度大学案内」の特集ページ「実践知の現場」において外濠市民塾の活動が掲載された。



広報誌 HOSEI 特集記事の一部



2020 入試大学案内特集ページ

## マスメディア掲載等

### ・サンデー毎日記事 「持続可能な社会に向けて異分野融合でアプローチ」

2020 年 4 月 7 日号  
異分野融合研究の一例として江戸東京研究センターの研究活動を紹介。

### ・雑誌「新建築」記事 「磯崎新特別講演会」

2020 年 7 月号  
5 月に開催された磯崎新特別講演会の開催報告記事が掲載された。

以上